

# 日本農業市場学会 Newsletter

●発行：日本農業市場学会事務局

〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-24  
鹿児島大学農学部 食料農業経済学コース 気付  
TEL/FAX：099-285-8627 (研究室直通)  
Mail：yutaka@agri.kagoshima-u.ac.jp

## Contents

- 2017年度大会案内 (第2報)
- 2017年度大会個別報告・セッションの募集について
- 学会賞の推薦について (再)

## 2017年度大会案内 (第2報)

2017年度大会は、岩手大学農学部にて、以下の日程・内容で開催します。

### ◆ 日程

2017年7月1日(土)：シンポジウム、総会

7月2日(日)：個別報告、セッション、午後に東北大震災復興関連のミニシンポジウムを開催予定

### ◆ シンポジウム概要 (予定)

日時：7月1日(土) 9:00~17:00

会場：岩手大学 農学部 総合教育研究棟(生命系)2階「ぼらんホール」

テーマ：農政の大転換と市場・流通再編 (仮)

座長：松原豊彦 (立命館大学経済学部)，磯田宏 (九州大学大学院農学研究院)

報告者：第一報告 総論・米生産調整廃止問題 冬木勝仁 (東北大学大学院農学研究科)

第二報告 牛乳乳製品・指定生乳生産者団体問題 鈴木宣弘 (東京大学大学院農学生命科学研究科)

第三報告 青果物市場制度・流通問題 小野雅之 (神戸大学大学院農学研究科)

第四報告 J A いわてグループの考え方と取組方向 (岩手県中央会および全農いわて)

(報告の内容は仮、タイトルは未定)

コメンテーター：3名の予定で調整中

### ◆ シンポジウム趣意書

テーマ「農政の大転換と市場・流通再編」(仮)

戦後農政を支えてきた枠組みを廃止し、根本的な転換を図ること、これが現在の政権によって進められている「農政の大転換」の内容である。その核心をなすのは、農業政策に国家が責任をもたなくなり、農業を資本の手にゆだねること、これである。それを端的に示すのが次の一連の動きである。①米の生産調整に対して国家が責任を放棄し、農業団体による地域ごとの調整にゆだねること（いわゆる平成 30 年問題）。②規制改革推進会議等による農業協同組合に対する攻撃と全国組織「解体」への一連の動き。③指定生乳生産者団体制度の改変により、生乳の価格交渉力、需給調整機能の骨抜きを狙う動き。④全農による買取・実需者等への直接販売シフトという「改革」とも関連した公的市場制度（中央卸売市場）に対する改変の動き。

現れ方は様々であるが、そこに共通するのは、産業競争力会議・規制改革推進会議による一連の提言を契機として、生産調整・需給調整・市場制度を全面的に改変し、弱体化を進めようとしていることである。換言すれば、農業政策に国家が責任をもたなくなり、農産物市場および農村市場を資本の手に全面的にゆだねていくことである。

2017 年度の大会シンポジウムにおけるテーマは、第一に農政の大転換を主として市場制度と流通方式の側面からどう捉え、批判するかということである。第二に、主要な分野ごとに、その動向と本質を検討し、分析することである。第三に、これらの動きに対して、代替案あるいは真の自主的改革案を対置することである。

そこで、全体を貫くテーマとして農政の大転換をどうみるかをおいた上で、次の分野を設定して報告をお願いした。（1）米の生産調整廃止問題、（2）牛乳・乳製品・指定団体制度問題、（3）青果物市場制度・流通問題、（4）JA いわてグループとしてのこれら一連の「改革・改変」問題への考え方と取組方向。大会シンポジウムでは、以上のテーマを議論することで、農政の大転換のもとでの市場・流通再編の検討と代替案の対置という課題に迫りたい。

## 2017 年度大会個別報告・セッションの募集について

以下のとおり、会員のみなさまからセッション、個別報告を募集いたします。希望される方は期日までに必要事項を企画委員会事務局（後掲）までご連絡ください。

### ◆ 個別報告・セッションの申し込み（エントリー）

○締切 **2017 年 5 月 8 日（月）** ※E-mail で企画委員会事務局必着

#### ◇ **個別報告**へ申し込む際の必要連絡事項

- ① 報告者氏名および所属
- ② 報告タイトル
- ③ スライド（PDF ファイルのみ可）使用

#### ◇ **セッション**へ申し込む際の必要連絡事項

- ① 座長（コーディネーター）の氏名・所属
- ② 全体テーマと趣旨（個別報告要旨と同様の様式）
- ③ セッション内で行う報告のタイトル、報告者氏名・所属、コメンテーターをつける場合にはその氏名・所属
- ④ スライド（PDF ファイルのみ可）使用

### ※セッション形式について

- ・セッションは共通テーマの下で座長を立て、2～4 報告を行い、総合討論するものです。コメンテーターをつけることも出来ます。
- ・セッションでの報告は個別報告の一部として取り扱い、個別報告の時間帯に組み込んで行います。セッション内のすべての報告の終了後、1 報告分の時間で総合討論を行います（コメントを含む）。また、セッション内の報告についても、報告論文として投稿することができます。
- ・座長、報告者ともに本学会の会員である必要があります。

### ◆ 個別報告・セッションの報告要旨の提出

○締切 **2017 年 5 月 31 日（水）** ※E-mail で企画委員会事務局必着

#### ◇ 提出書類

学会 HP の「個別報告要旨（様式）」に従って作成してください。

※学会ホームページのアドレス：<http://amsj.jp/>

※用紙：A4 版横書き用紙 1 枚以内（1,000 字程度）

※内容：報告タイトル（ゴシック体 10.5 ポイント太字、中央寄せ）

報告者氏名（明朝体 10.5 ポイント、中央寄せ）

所属（ ）内に明朝体 10.5 ポイント、中央寄せ）

報告要旨本文（明朝体 10.5 ポイント）

※提出方法：MS-Word 形式のファイルを E-mail 添付で提出してください。

### ◆ 申し込みにあたっての注意事項

- ・報告時間は、1 報告 20 分、質疑 10 分を予定していますが、報告者の数によっては変更することもあります。あらかじめご承知おきください。
- ・会費を滞納している会員は、個別報告やセッションに申し込むことができません。また、報告の代表者だけではなく、連名で報告される会員すべてについて、会費を納入していることが条件となります。
- ・大会後に報告論文の投稿を検討されている方は、以下の点に特にご留意ください。投稿規程（2015 年 12 月改正）によれば、報告論文のタイトルおよび執筆者（順）は、原則として個別報告等（要旨集掲載）のタイトルおよび報告者（順）とすることになっていますので、よろしくお願いします。
- ・個別報告・セッションの領域が本学会の目的（会則第 2 条「農業・食料に関わる諸市場の理論的・実証的研究」）にふさわしくないと判断される場合は、セッションあるいは個別報告をお断りすることがありますので、あらかじめご承知おきください。

○申込先（問い合わせ先）：企画委員会事務局

日本農業市場学会企画委員会事務局 磯田 宏 (ISODA, Hiroshi)

申込先 **E-mail: [isodanousei@yahoo.co.jp](mailto:isodanousei@yahoo.co.jp)**

〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学大学院農学研究院

TEL：092-642-2963（直通）

## 学会賞の推薦について（再）

---

2017年度の日本農業市場学会賞（学会賞・学会奨励賞）の推薦を2017年2月末日締切で受け付けていましたが、推薦がなかったため、締切を4月28日まで延長します。積極的な推薦をよろしくお願いします。

（学会賞選考委員会委員長 小野 雅之）

### （1）受賞候補の条件

#### ◇日本農業市場学会賞

2014年1月1日から2016年12月末までに公刊された学術論文または単行本。本学会会員であれば候補者の年齢は問わない。

#### ◇日本農業市場学会奨励賞（川村・美土路賞）

2015年1月1日から2016年12月末までに公刊された学術論文または単行本。ただし、2017年4月1日時点で満40歳未満の会員に限る。

### （2）学会賞候補を推薦できる者 1名ないし複数名の本学会会員

### （3）推薦の方法

推薦者から学会賞選考委員長にあてに、A4用紙に横書きで下記の事項を記載の上、提出する。

- ① 選考対象の論文名又は単行本名（いずれも発行所、発行年月日、論文の場合は掲載誌の名称・巻号を記載）
- ② 受賞候補者の氏名
- ③ 候補者の所属機関
- ④ 候補者の略歴  
対象の業績が複数、または業績が共著であり審査対象者が複数の場合、①または②～④を繰り返して記入すること
- ⑤ 同論文または単行本の要約（2,000字以内）
- ⑥ 推薦者
- ⑦ 推薦理由

### （4）推薦状および対象論文（単行本）提出先

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学農学部 食料環境経済学講座  
小野 雅之 宛

★対象となる論文および単行本3部を送付してください。

### （5）推薦締め切り

2017年4月28日（金）消印有効